

『第9回伊賀市非核平和推進中学生広島派遣事業』



伊賀市では、8月5日から2日間、市内中学生の代表10人を広島市に派遣しました。参加した生徒は、被爆体験講話を聴き、市内の中学生一人ひとりが心をこめて折った千羽鶴を原爆の子の像に捧げました。また、原爆ドーム、平和記念資料館の見学や平和記念式典に参加し、平和への決意をしました。

近年、世界中で大規模な紛争が多発しており、「平和」に対する関心が集まる中、平和記念式典では、核兵器の無い平和な社会の実現に向けて私たち1人ひとりにできることを考えるよい機会となりました。

参加した生徒のレポートからヒロシマの様子をお伝えします。

広島派遣：平成25年8月5日(月)、6日(火)

■行程

5日 ～ 被爆体験講話聴き取り
原爆ドーム見学
原爆の子の像へ千羽鶴捧げ
広島平和記念資料館見学

6日 ～ 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式(平和記念式典)参加
平和演劇鑑賞

【被爆体験講話聴き取り】



被爆体験講話を竹岡さんという人から聞かせていただきました。原爆は罪の無い人たちの命を奪っただけでなく夢や希望までもくずしてしまいました。一瞬にしてすべてを奪った原爆のおそろしさを知り、二度と原爆を使ってはいけないと思いました。

崇広中学校 福森優樹さん



竹岡さんからお話を聴かせていただきました。多くの方が放射能を浴びたそうです。

竹岡さんの最初の子どもは、放射能の影響で生後十八ヶ月目で亡くなったそうです。でも、その子どもが私の命を救ってくれたと言っていました。

霊峰中学校 増森さやかさん

【原爆ドーム】



原爆ドームを見るのは二回目ですが、やはり見ると原爆の恐ろしさをもものすごく感じます。周りの風景は近代的なのに原爆ドームだけは、原爆の悲惨さを伝えるように当時のままで止まっているような気がしました。

島ヶ原中学校 川上梓さん

【原爆の子の像】



原爆の子の像の下で鐘を鳴らして千羽鶴を捧げに行きました。そこにあった千羽鶴には、とてもたくさんの都道府県の中学校や小学校などの名前が書かれていて、改めて多くの方が平和な世界を望んでいることがわかりました。

緑ヶ丘中学校 中西陸人さん

【広島平和記念資料館】



ぼくは広島平和記念資料館で、原爆によって皮ふが焼けただれた人の写真や、原爆によって亡くなった方々の遺品を見ました。ぼくにはその全てが、原爆が落ちたその当時に今に伝えているように感じました。

城東中学校 鳩岡悠生さん



資料館には、原爆で皮ふが溶け、垂れ下がった人の姿の模型、ひどくやけどした人の写真など、目をそむけたくなる写真がありました。

改めて原爆の恐ろしさを知らされました。二度とこんなことを起こしてはいけないと強く思いました。

阿山中学校 西田千尋さん

【平和記念式典】



式典では、いろいろな国の人たちが来て、これからの平和を祈るとともに戦争をなくしていくという意志がとても伝わってきました。これから自分たちは戦争・核兵器をなくしていくために何をすればよいかしっかり考えていこうと思います。

上野南中学校 中岡誉明さん



平和記念式典に参加して、世界中の人々が平和を望んでいるのだとわかりました。また、近ごろ話題になっている憲法第九条について、私は変えてはならないものだと思います。核で国を守るという意見もありますが、私は反対の意見を貫きたいです。

大山田中学校 森井美早樹さん

【広島市立舟入高等学校演劇】

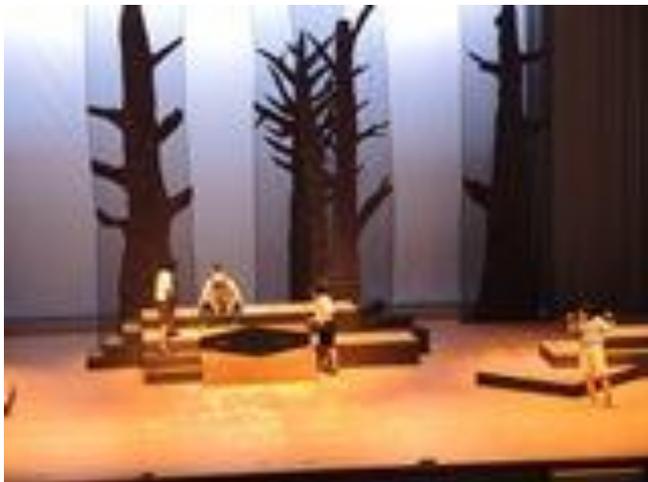


劇はアメリカから見た原爆の話でした。

戦争から帰ってきた兄が、「自分は傷つせずに相手を傷つけることはできない。」と言っていました。

自分も相手も傷つく戦争はしない方がいいと思いました。

柘植中学校 中嶋由佳さん



劇は、アメリカ人の主人公の兄が原爆投下直後の広島に行き残酷な風景を見て、自分たちのしたことを後悔した話でした。原爆は、人の体はもちろん人の心までも傷つけるんだと私は思いました。そして、原爆や戦争はもう二度とくり返してはいけないと思いました。

青山中学校 西出彩那さん